

## 令和6年度事業報告

令和6年度は、災害の多発した年でした。本県でも会津地方で記録的な豪雪に見舞われました。このような状況も踏まえ本学では、防災教育をさらに充実させてまいります。全国の専門学校に先駆けて防災士の資格取得を始めたケイセンビジネス公務員カレッジ（以下、ケイセンと称す）では、全員合格の快挙を達成しました。郡山学院高等専修学校（以下、学院と称す）でも、次年度から救急法の講習に取り組みます。学生・生徒の総数は、想定以上の少子化もあり減少しておりましたが、募集に尽力し歯止めがかかりました。6年連続入学生減少だったケイセンは、何とか今年度は増加に転じることができました。それでも定員の6割弱なので、引き続き学生募集に全力を尽くしてまいります。生徒募集に精力的に取り組んでいる学院は、第一回の入試で早々と定員を充足しました。令和6年度は5か年計画（黒字転換、学院の高校化、人材育成、ケイセン校舎改修）を策定しましたので、その進捗について説明します。まず「黒字転換」ですが、今年度は学生・生徒総数が増えたことで収益増加につながる第一歩とすることができました。しかも2年課程の在籍数が増えるので、財務的にはプラス要因となります。ケイセンの新学科開設は、未達でした。研修センターは、ようやく次年度の後半に開設の目途が立ちました。次に「学院の高校化」ですが、年度初めに監督官庁の私学法人課に打診したところ、高校開設の条件として原則は校地の隣接した場所に校庭が必要との回答なので、全日制ではなく定時制高校への変更を検討しております。高校教員免許を所持していない教員に、大学通信課程に編入をしてもらい免許取得に努めております。三番目の「人材育成」ですが、6年度もケイセンでは退職者が6名出てしまいました。人材育成が不十分で早急に対策を講じます。やりがい、働き甲斐を感じられるような職場環境づくりや、メンター制度の導入も検討してまいります。最後の「ケイセン校舎の改修」ですが、快適性を高めるためのトイレ改修の見積もりを取っただけで、未達に終わってしまいました。以上、5か年計画の1年目でしたが、計画の緒に就いたばかりで進捗は、十分なものとは言えない状況となってしまいました。今後、PDCAサイクルをしっかりと進めてまいります。

以下は、令和6年度に本学が行った具体的な事業の説明となります。